

○ 「平成27年度医薬品副作用被害救済制度に関する認知度調査」結果概要 医療関係者

1. 調査概要

- (1) 調査対象 医療関係者(全国の医師、薬剤師、看護師、歯科医師 計 3,500 人)
- | | | |
|------|---------|-----------------------------|
| 医師 | 1,000 人 | (病院勤務 500 人、診療所勤務 500 人) |
| 薬剤師 | 1,000 人 | (病院・診療所勤務 500 人、薬局勤務 500 人) |
| 看護師 | 1,000 人 | (病院勤務 500 人、診療所勤務 500 人) |
| 歯科医師 | 500 人 | |
- (2) 調査方法 インターネット調査
- (3) 調査時期 平成27年12月22日(火)～平成28年1月8日(金)
- (4) 調査項目 制度の認知率、制度の内容理解度、制度の認知経路、制度への関与度、制度利用の勧奨率、集中広報の評価 など

2. 調査結果の概要

制度の認知率

(1) 医薬品副作用被害救済制度の認知率について

- ・ 制度の認知率(知っている + 聞いたことがある)は 79.7% (前年度 79.9%)
< 内訳 > 「知っている」 56.1% (53.8%)
「聞いたことがある」 23.6% (26.1%)
- ・ 職種別では、医師が 89.7%(前年度 88.1%)、薬剤師が 97.3%(99.6%)、看護師が 56.7%(55.1%)、歯科医師が 70.6%(78.1%)

制度の内容理解度

(2) 医薬品副作用被害救済制度の内容理解度(制度認知者ベース)について

- ・ 公的な制度である 83.4% (前年度 83.8%)
- ・ 副作用による健康被害について救済給付を行う 84.2% (85.1%)
- ・ 救済給付の請求には医師が作成した診断書などが必要である 71.9% (63.6%)

制度の認知経路

(3) 制度の認知経路(制度認知者ベース・複数回答)について

・ PMDAのホームページ	24.8%	(前年度 19.4%)
・ 聞いた / 教えてもらった(主に同職種間)	24.8%	(30.3%)
・ 医療関係専門誌	23.4%	(28.8%)
・ 医薬品安全対策情報(DSU)	14.3%	(14.9%)
・ パンフレット・リーフレット	13.3%	(20.7%)
・ 副作用報告制度の報告用紙	10.4%	(17.1%)

制度への関与度

(4) 制度への関与度(請求手続に関わったことがある)(制度認知者ベース)について

- ・ 制度の紹介、診断書・投薬証明書の作成など、請求手続きへの関わりについては、全体で 9.5%、医師が 9.6%、薬剤師が 13.7%、看護師が 4.2%、歯科医師が 5.9%

制度利用の勧奨率

(5) 制度利用の勧奨率(制度の利用を勧めたいか)について

- ・ 「制度利用を勧めたい」については、全体で 57.1% (前年度 70.5%)、医師が 59.6% (70.3%)、薬剤師が 68.5% (81.4%)、看護師が 44.3% (60.4%)、歯科医師が 54.6% (71.6%)
- ・ 「制度利用を勧めたくない」は、全体で 3.4% (前年度 1.4%)、
「どちらとも言えない」は全体で 39.5% (前年度 28.1%)
その理由(複数回答)は、
「自分自身が制度をよく理解していない」が 50.6% (57.8%)、「必要書類の作成が複雑・面倒」が 30.9% (31.6%)、「支給決定までに時間がかかる」が 16.6% (14.1%)、「不支給の場合に責任を問われる」が 16.4% (21.5%)、となっている。

集中広報の評価

(6) 薬局・院内ビジョン、バックヤードビジョンの認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある + 見たような気がする) 13.5% (前年度 -)
- ・ 薬局・院内ビジョンバックヤードビジョンの評価は、「印象(記憶)に残った」が 62.1%、「興味や関心を持った」が 64.6%、「PMDAのホームページにアクセスしなくなった」が 52.1%

(7) 専門雑誌の広告の認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある + 見たような気がする) 33.2% (前年度 -)
- ・ 専門雑誌の広告の評価は、「印象(記憶)に残った」が 52.9%、「興味や関心を持った」が 52.6%、「PMDAのホームページにアクセスしなくなった」が 31.5%

(8) 特設サイトの認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある + 見たような気がする) 18.6% (前年度 -)
- ・ 特設サイトの評価は、「印象(記憶)に残った」が 68.4%、「興味や関心を持った」が 67.4%、「役に立つ情報が得られた」が 64.2%